

議会だより

2016年 2 月 北海道中川郡豊頃町議会発行
議会運営委員会編集



12月定例会

補正予算

第4回定例会は、12月15日から開会され、補正予算など町長提案13議案を、いずれも原案どおり可決、18日に一般質問、議員提案の意見書の決定、選挙管理員及び補充員の選挙等を行なって閉会しました。

会計名	補正額	総額
一般会計(第4号)定例会	△2千505万円	46億1千747万円
国民健康保険特別会計(第1号)定例会	400万円	6億8千587万円
介護保険特別会計(第2号)定例会	△1千380万円	3億9千869万円
後期高齢者医療特別会計(第2号)定例会	△20万円	5千776万円
医療施設特別会計(第3号)定例会	82万円	1億4千322万円
簡易水道特別会計(第2号)定例会	△228万円	3億3千633万円

補正予算の主なもの

12月15日 第4回定例会

- 定住促進等住宅取得補助金 100万円
 - はるにれ友遊館管理備品 68万円
 - 庁内LANシステム端末機 639万円
 - 道東・道北ドクターヘリ加入時負担金 131万円
 - 有害鳥獣駆除補助金 63万円
 - 秋サケ流通対策事業補助金 780万円
 - 大津漁港上架施設関連連工事補助金 294万円
 - プレミアム付特別商品券発行事業補助金 266万円
 - 町営住宅修繕料 270万円
 - 東十勝消防事務組合負担金 659万円
 - 各工事費等執行残の減額、人件費の科目増減、国の事業規模確定に伴う事業費減額等
- 表示の金額は、一万円未満を四捨五入しています。

一条例制定等

▼行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定
特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき、町又は教育委員会における事務処理で個人番号の利用可能な範囲を規定する条例。

▼豊頃町税条例の一部を改正
徴収猶予等に係る規定の整備、番号法施行に伴う申請書等の記載事項の改正、紙巻たばこ3級品の税率の見直し等。

▼豊頃町国民健康保険税条例の一部を改正
本条例中、個人番号に関する事項を追加。

▼豊頃町介護保険条例の一部を改正
本条例中、個人番号に関する事項を追加。

▼豊頃町地域優良賃貸住宅の設置及び管理条例の制定



高齢者その他地域における居住の安定のため「地域優良賃貸住宅」を設置し、公募方法、入居者の資格申込方法、入居手続、家賃の決定及びその他使用に関する事項を定める条例。

▼豊頃町過疎地域自立促進市町村計画の一部変更
本計画への事業の追加等

▼東十勝消防事務組合の解散に伴う財産処分
東十勝消防組合が所有する財産のうち、豊頃消防署の管理に属するものについて、豊頃町に帰属する内容。

主な審議内容

平成27年度補正予算等

Q 今回、台風による漁業被害に対する対策が予算措置されていないが、今後の町の対応は？

A 大津漁協で被害の詳細を詰めており、まことり次第、早ければ3月定例会で関連予算を審議いただく予定である。

Q 町の基幹産業であるので、早急な対策を！

A 浦幌町とも協議し、財政支援を検討したい。

Q プレミアム商品券に関する増減補正はいつ発行分か？

A 道補助金対象の千セット分を補正するもので、1月以降に第6弾を発行する予定。

Q 公営住宅の修繕費270万円の内訳は？

A 当初計上分の修繕費がほぼ執行済のため、今後の入退居に対応するため、1件30万円の9件分を補正したものを。

Q 現時点での入居希望者と住宅の空き状況は？

A 現時点の入居希望者はありません。空き状況は、ドリムタウンで世帯用2戸、パートナータウンで単身用2戸。単身用2戸は、間もなく入居予定である。

Q 古い公営住宅は、今後どうするのか？

A 老朽化が著しい十弗宝町並びに大津地区への新たな入居を断り、完全に入居が無くなった時点で取り壊す。

Q ドクターヘリ加入時負担金の内訳は？

A 加入時の今回1度限りの負担であり、帯広市以外の管内町村負担額は同額である。

Q 本町におけるドクターヘリのヘリポートは？

A 10月に担当者が来町し、ドクターヘリのヘリポート（ランデブーポイント）を調査し、町内4箇所を申請中である。



浦幌消防署前に着陸したドクターヘリ

Q 介護保険特別会計の約1,400万円の居宅介護サービス等給付費の減額の理由は？

A この減額は、ヘルパーの利用、地域密着型施設及び

グループホーム等施設利用、デイサービスの利用などのうち、特に利用者の入院等に伴う利用減が大きな要因である。

Q 長節配水池防水工事等の減額補正であるが、現状浄水場は門柱・フェンスともに老朽化が著しく、早急な対応が必要とと思うが？

A 新年度にフェンスの改修等の予算を計上する予定である。町民の水瓶を預かる意識を再確認し、良好な管理に努めたい。

Q マイナンバーに関する個人情報漏洩対策は？

A 国の指示に従い、10月5日からの通知カードの配付前に特定個人情報扱つパソコンと一般業務を行うパソコンを切り離した対応でスタートした。また、ヒューマンエラーを発生させないよう職員研修や職員指導を実施してきたが、今後も更に徹底したい。
議案審議等

Q 町税条例の改正中、紙巻たばこ3級品とあるが具体的には？

A 旧専売公社時代に1級から3級の等級があり、葉の質



茂岩栄町に建設中の「地域優良賃貸住宅（高齢者住宅）」

から「わかば・エコー・しんせい」などフィルターの無いたばこが3級品の分類で、現在3級品は、1・2級品の約半分の税率が適用されており、今回特例を廃止し、同じ税率とするもの。なお、激変緩和措置で段階的に3年間で特例を廃止する内容である。

Q 地域優良賃貸住宅の設置及び管理条例第3条中、「高齢者」とは何歳か。また「地域における居住の安定に配慮が必要な者」とは？

A 高齢者は65歳以上を想定。また、地域における居住の安定に配慮が必要な方とは、社会的に弱い立場にある方で、入居の決定は町長が行う。

一般質問



岩井 明 議員

TPPに対する今後の対応は！

Q 本町は現在までTPPの参加交渉には反対の姿勢であったが、今回TPP交渉の大筋合意を受け、JA中央会も政府が示した大綱を一定程度評価し、今後交渉反対運動を止めるとの見解を示したが、豊頃町としての今後の対応をお聞きしたい。

A 宮口町長
今日においてもTPP協定の締結には基本的に反対である。10月5日交渉参加12力国閣僚会合において、交渉の大筋合意がなされ、政府は、交渉結果及び影響試算について全国各地で説明会を開催したが、合意内容を見ると農林水産

品目が過去に類を見ない関税の撤廃、低関税輸入枠や関税削減など、国内食料安全保障にも重大な影響を及ぼすと危惧され、本町の基幹産業への不安を拭いきれない。今後は、11月25日に国から示された「総合的TPP関連施策大綱」により、農林漁業者が安心して経営に取り組み、経営安定・安定供給体制の整備などの着実な実行を求めていきたい。

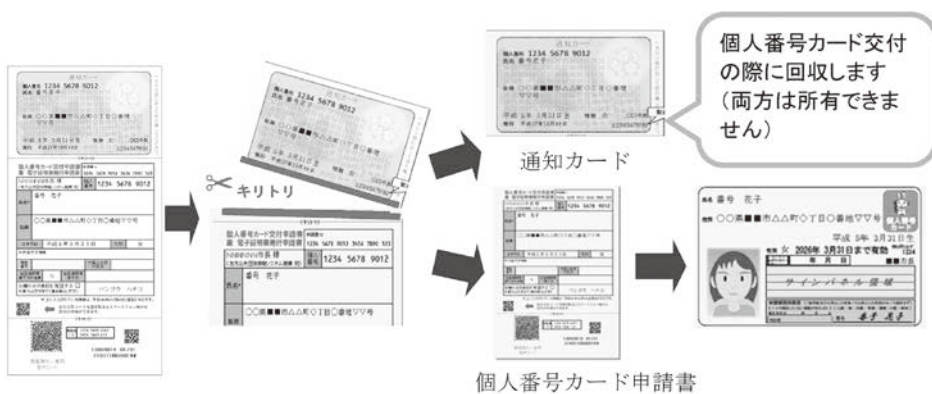
マイナンバー事業について

Q 町に返還された通知カードの件数と個人番号カードの作成件数は？

A 宮口町長
本町の配達対象1,511世帯中、郵便局から返還されたのが154通（10・2％）で、その内訳は、宛所のないもの24通、不在による郵便局での保管期限が経過したものが128通、受け取り拒否が2通であった。

これら返還分は、役場窓口での受け渡しとなり、再度対象者へ通知し、12月17日現在、未交付保管数47通（3・1％）であった。また、個人番号カードの作成件

数は、申請者本人から町を経由しないで、作成委託業者へ送付されるため、現時点（12月18日）で把握することができない。なお、申請者へのカードの交付は、平成28年1月から開始され、役場窓口で交付するため、その段階で作成者数の把握は可能である。



通知カードから個人番号カード交付の流れ



Q 介護施設入所の高齢者や認知症等で判断能力が低下し、自身でマイナンバーを管理することが困難な方への対応は？

A 宮口町長

後見人あるいは家族がある方は家族へ、後見人も家族もない方は、当該施設の「事務管理」として封筒を開封することなく、そのままの状態に厳重に保管される。

Q 本町のセキュリティ対策は？

A 宮口町長

本町におけるマイナンバーの管理は、国のガイドラインに沿ったシステムの改修を終え、インターネット回線からの遮断やマイナンバーを扱う職員の権限の厳格的な運用を図り実施している。



坂口 尚示 議員

緊急農地基盤整備事業について

Q 本事業の対象面積は、1件につき1ヘクタールまでの制限となっているが、複数の農家で構成されている農業法人についても1

件とみなされているが、状況に応じた対象面積の拡大等の取り扱いの考えは無いのか？

A 宮口町長

本事業は、町と農協がそれぞれ25%、受益者が50%を費用負担し、地区ごとに計画的に進める道営事業、公社営事業を緊急的かつ補完する小規模暗渠事業であり、現状運用でご理解いただきたい。

スプレー缶の処理について

Q スプレー缶の処理のため、穴を開ける際に火災事故等が発生する事案が増え、穴を開けずに回収する自治体もあり、勘違いしている町民もいるので、回収方法や安全に穴を開ける方法等の指導を徹底すべきでは？

A 宮口町長

スプレー缶等の回収は、現在週1回、資源ごみの日に、穴を開け、ガスを抜き、中身の見える袋に入れてごみステーションに排出後、資源ごみと共にトラックで回収している。

ご質問にあるように穴開けの徹底と穴開けの際の注意喚起について、広報紙等を通じて周知したい。

広報とよこ 議会だより

役場だより



豊頃町ではガス抜きし、資源ごみの日に中身の見える袋に入れて出す。



大崎 英樹 議員

地方創生における「まち・ひと・しごと総合戦略」について

Q 創生会議で出された意見や話し合われた内容・町民からの意見徴収（パブリックコメント）の内容は？

A 宮口町長

創生会議及び町民からの意見聴取の中で最も多かったのが「雇用創出」についての意見であった。また、本町の強みである一次産業を活かし、雇用を生み出すために二次産業、三次産業へとつなげる対策、いわゆる6次産業化への取り組みを進めるため、関係団体と協議会を設置し、全町一丸となつ

て検討する体制の整備を重点プロジェクトとして掲載している。具体的な取り組みがまとまり次第、随時掲載したい。

また、人口減少対策に関するご意見については、総合戦略見直しの際に登載を検討したい。

総合戦略は、毎年度、創生会議において事業効果の検証を行い、町民アンケート、幅広い年代の町民ワークショップ（問題解決の手法）を開催し、総合戦略に反映したい。



豊頃町まち・ひと・しごと創生会議

合同墓の設置は



豊頃墓地「供養之碑」

Q 墓を建てても近くに後継者がおらず、管理していけないという理由から墓を撤去する方もいるので、町で合同墓を設置・管理する考えは無いか？

A 宮口町長

近年の少子化や核家族化に伴い、お墓の継承や維持管理への不安、また、様々な理由でお墓を持ってない等の理由から継承者が必要としない、将来的にも安定した管理を委ねられる合同墓が注目されている。しかし、複数人の遺骨を埋葬するため、その後の取り出しが出来ず、宗教的な行為もできない

いこともあり、今後、道内の設置状況を把握しながら町民の要望が高まれば、前向きに検討したい。



小笠原茂人 議員

農業委員会法と農地法の改正ポイントは！

Q 平成27年8月に成立した改正法が、第一次産業主体の我が町にとって注目すべきポイントは？

A 宮口町長

これまで選挙で農業委員を選出していたが、平成28年4月1日以降、任期満了日の翌日からは、「公募又は推薦のあった方の中から町長が議会の同意を得て選任する方法」に変更、農業委員の過半数は、認定農業者で、かつ農業に対し利害関係の無い方を必ず委員に選任する規定である。

改正後の農業委員の選出方法は？

Q 町はどのような方法で選任しようとするのか！

A 宮口町長

先の条件を考慮し、地域の農業

者や農協、農済など個人、団体から幅広く推薦を求め、年齢等の偏りが無いかたちで取り進めたい。

Q 農委法の改正において「農地利用最適化推進委員」をどのような方法で任命するのか？

A 宮口町長

本町では買手・借手のない農地が無く、円滑に農地利用がなされておらず、最適化推進の役割が果たせていない。ご質問の推進委員は農業委員会の委嘱である。なお、委嘱しないことができる市町村名は国が告示しており、本町も該当している。委嘱する場合は、平成29年7月の改正後の新体制に併せ、農業委員会と協議し取り進める。

A 竹下農業委員会会長

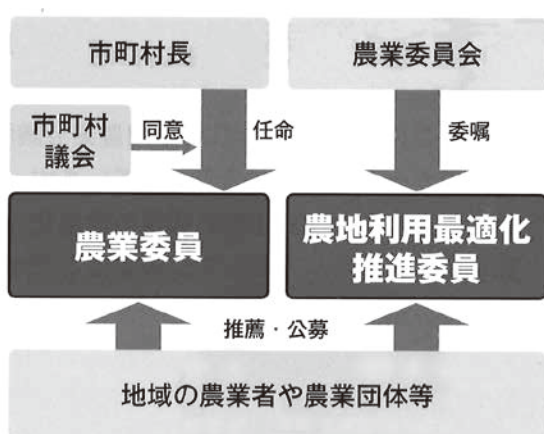
これまでは、適任者を地域が責任をもち選出してきた経緯があるが、改正後は同様に地域の代表性が堅持できる人選が可能なのか危惧している。

Q 農地法の改正において農地を所有できる法人の名称を「農地所有適格化法人」に改め、要件緩和がされるが、町はどのように考えるか？

A 宮口町長

本町の農業生産法人は現在10法人が生産活動を行っている。農業者人口が徐々に減少し、従事する方の高齢化が進み、将来の農業のあるべき姿として個人経営を維持しつつ、これに代わる法人の育成は重要である。今後、法人の参入については農協・農業委員会と情報を共有しながら検討したい。

■農業委員、農地利用最適化推進委員の選任イメージ図



委員会レポート

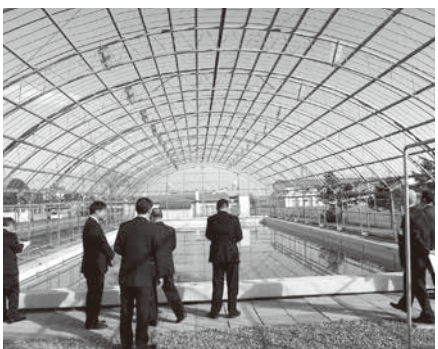
広報とよころ
▽委員会レポート
議会だより
役場だより

11月17日、総務文教常任委員会は、町内小中学校を訪問し、教育環境の充実の観点から過去5箇年の学校施設及び教育教材等の整備状況とその現況について調査した。

1 調査の経過と結果

(1) 大津小学校

普通学級2（複式）、特別支援学級2（知的、言語）の児童数7人、教職員8人である。校舎は、昭和53年12月に完成し、建築後37年が経過している。最近5年間に於ける主な整備状況は、「体育館屋根塗装改修」「校舎外壁塗装改修」「校舎ガラス更新」などの改修を25、496千円で実施したほか、小破修繕や補修が毎年行われている。



大津小学校プールを視察

(2) 豊頃小学校

普通学級6、特別支援学級

4（情緒、知的、言語、病弱）

の児童数136人、教職員18人である。校舎は、平成3年3月に完成し、建築後24年8箇月が経過している。最近5年間に於ける主な整備状況は、「体育館屋根改修」「校舎屋上防水改修」「暖房改修」「校舎内LED化」「廊下フロア改修」などの改修を90、841千円で実施したほか、小破修繕や補修が毎年行われている。

(3) 豊頃中学校

普通学級3、特別支援学級3（情緒、知的、言語）の生徒数77人、教職員17人である。校舎は、昭和49年12月に完成し、建築後41年が経過している。最近5年間に於ける主な整備状況は、「駐車場整備」「校舎周辺環境整備」「受電設備改修」「校舎前側溝補修」などの改修を7、181千円で実施したほか、小破修繕や補修が毎年行われている。

管理及び教材備品の整備では、3校ともに指導書をはじめ

年次ごとに必要な教務教材が購入されている。



豊頃中学校の概要説明を遠藤校長から受ける。

2 まとめ

本調査では、3校それぞれに特色ある学校経営が展開され、児童・生徒の教育活動が教職員をはじめ、地域との連携により進められ、今後これら教育活動の継続により更なる教育の充実が期待できる。

学校施設では、建築後40年以上経過する豊頃中学校について、児童・生徒数の動向を見据えながら、建替えなど総合的な検討を早期に進める必要がある。また、大津小学校では、プール、体育館をはじめ学校施設の改修・修繕や周辺環

境の整備など、教育活動に支障が出ないよう適宜実施すべきなどの意見が出された。

ICTを活用した教育環境の充実では、タブレットによる授業が実践され、機器取り扱いの習熟度やデータ収集及び活用能力を高めるための授業を主眼に実施されているが、今後は指導方法の研究、指導技術の習得により学習効果が高まることを期待する。

児童・生徒を取り巻く教育環境は、社会の急激な変化と同様に変化し、更なる充実には学校施設の整備をはじめ、教職員の研修機会の充実、地域支援体制の整備など総合的な取り組みが重要であるなどの意見が出された。



豊頃小学校でのタブレット授業の様子



委員会レポート②

11月20日、産業厚生常任委員会は、高齢化が進む本町において独居高齢者・高齢者世帯が安心して暮らすための施設のあり方について、管内の高齢者施設を視察調査した。

1 調査の経過と結果

(1) 足寄町高齢者等複合施設

「むすびれっじ」

本施設は、小規模多機能型居宅介護施設と地域交流施設の機能を一体的に整備した「地域支え合いセンター」が平成26年4月1日に、認知症高齢者グループホーム、生活支援長屋が平成27年4月1日に供用を開始し、4機能がまとまった施設である。



足寄町高齢者等複合施設「むすびれっじ」を視察

小規模多機能型居宅介護施設は、「通い」を中心に「泊まり」「訪問」の3サービスを組み合わせた在宅介護サービスを提供。定員は29名、宿泊居室9室で、営業日は年中無休となっている。利用料金は、介護保険月額料金1割負担の要支援1で4,498円、要介護5で28,305円で、宿泊料金は1泊1,600円、食事代を加えた額が月額の利用料金となっている。

地域交流施設は、地域の高齢者の施設として、趣味やボランティア活動、軽運動、入浴、食事及び調理などが可能な施設。

開催日は週二日の2コース(月・木コース、火・金コース)、利用料は1日600円(施設利用料、昼食代、入浴料を含む)で設定されている。

認知症高齢者グループホームは、認知介護が必要な高齢者等が、住み慣れた地域で安心できる介護サービスが提供され、居室(9室)に、洗面所、多目的トイレを有している。特に、人間の尊厳を大切に、自立した日常生活を営むことができるよう援助することを目的に、要支援2から要介護5の認定を受けた町内居住者で、共同生活に支障がない方を対象としている。利

用料金は、月額3万7千円のほか、食事代、光熱水費などとなっている。

生活支援長屋は、住み慣れた自宅での生活を継続できるよう、支援が必要な期間に滞在できる宿泊居室9室(ミニキッチン、トイレ設置)を有する施設である。サービスは、日常的な見守り、朝夕の食事、日々のコミュニケーション、心配事相談等で、特に退院後に体力的に自宅で暮らすことが心配で、自宅からリハビリ等で通院するのが大変な高齢者をサポートし、長屋での生活を通して自宅に戻る準備をするための施設である。朝夕の食事



JA 木野住宅型有料老人ホーム「すずらん」の概要説明を受ける。

込みの宿泊料金は、夏期間で1泊1,430円から最高3,030円までの3段階で設定されている。

(2) JA 木野住宅型有料老人ホーム「すずらん」

農協組合員からの要請で、平成19年に有料老人ホームとしてオープンした。施設は鉄筋コンクリート造、8階建てで、81室108人収容となっている。1階に24時間対応のフロント、食堂、大浴場、娛樂室等が配置され、2階以上は居住スペースとなっている。食堂で食事のサービスを受けることができるが、居住スペースには炊事施設があり、自炊も可能となっている。また、同施設には、小児科内科医院、通所介護施設も併設され、利用料は、4タイプの居住スペースが、月額4万2千円から7万3千円、敷金は6箇月分、食事サービスは1箇月30日の場合、月額約4万3千円。電気・水道・電話・NHK受信料は入居者負担となる。入居対象は60歳以上の日常生活自立者となっている。

(3) 介護付有料老人ホーム

『シルバースティ十勝おびひろ』
(株)太平洋シルバースサービス北海道が平成23年にオープンした

広報とよころ

議会だより

委員会レポート



介護付有料老人ホーム「シルバーシティ十勝おびひろ」の概要説明を受ける。

施設で、鉄筋コンクリート造、3階建てで、54室60人収容可となっている。60歳以上なら、自立者から認知症・寝たきり者まで入居可能で、「終の住処（ついのすみか）」との位置づけもできる。看護師が常勤し、スタッフが入居者2人に対して1人の配置となっており、日常の洗濯・居室清掃、シーツ取替え、入浴・排泄介助など手厚いサービス、介護が受けられる。また、サークル活動、日帰りバス旅行など季節の行事なども多彩に計画され、入居者が快適に生活できるよう配慮されている。利用料は、1年間で入居一時金が96万円の他に、管理料及び食費等が、月額約20万5千円、平均すると月額約28万5千円となる。

意見書

▷ 平成27年度TPP「合意」内容の徹底した情報公開と検証を求める意見書

原案どおり可決され、関係省庁に提出されました。

2 まとめ

本調査では、4施設が併設する足寄町高齢者等複合施設が、退院後直ぐに自宅で生活することが困難な方や医療機関と連携した終末期医療が必要な方への対応など、自宅と同じように過ごせるような施設を目指し、介護職員の研修にも力を入れており、福祉ゾーン計画を進める本町にとって、参考となる施設であった。

今後の施設整備については高齢者・障害者等の共生型施設としての機能を持たせた整備や介護職員や施設職員の研修を計画的に進めるための体制づくりと合わせ、人員・人材の確保が課題であるとの意見が出された。

会議の詳細は会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。

ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。

また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222
FAX 015-574-3955
(議会事務局直通)



講師 北海道立総合研究機構 理事長 丹保憲仁氏

十勝議長会主催議員研修会参加

10月23日、札幌市総合研修センターにおいて、十勝議長会主催議員研修会が開催され、「近代の終わるころ〜人口100億人の世界」をテーマに記念講演が行われました。

日	内容	会場
10月	23日 十勝議長会主催議員研修会	札幌市
11月	30日 札幌豊頃会	札幌市
11月	11日 全国議長大会	東京都
11月	14日 東京豊頃会	東京都
11月	17日 総務文教常任委員会所管事務調査	
12月	20日 産業厚生常任委員会所管事務調査	
12月	3日 議員全員協議会	
12月	10日 議会運営委員会	
12月	15日 第4回定例会(1日目) (補正予算、その他)	
12月	18日 総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会 議員全員協議会	
12月	21日 第4回定例会(2日目) (一般質問、その他)	
1月	21日 第1回臨時会	
今後の予定	3月4日〜11日 第1回定例会	

